

2021.05.18.tuesday

学修・教育開発センター (CRED)



授業の様子

「東京家政大学の歴史から学び、未来を創る」パートについてのご報告

授業が開始して、およそ一か月が経過しました。今回は、「東京家政大学の歴史から学び、未来を創るパート」の授業計画についてお知らせいたします。

「歴史パート」の初回となります。第三回授業（四月二十九日）では、それぞれの所属学科（専攻）について新入生の代表が発表を行い、本学の個性と魅力について考えを深めました。続く第四回（五月十三日）の授業では事前課題として現在の社会・女性が置かれている状況についての資料を読んできた上で、SAの大学生活についての発表を聞き四年間の学びの通しを持つことを目的としており、多くの新入生にとって初めて上級生の話を聞く機会となったこの回は、多くの感想が寄せられました。詳細は次号でお知らせします。

「歴史パート」の最終回となる第七回（六月三日）の授業では、三、六回の授業で学んだ内容を踏まえ、本学の特徴を活かした研究テーマをチームで考えます。自分のキャリア・イメージと本学が提供する学修内容（知識・技能）がマッチングしていることを確認し、学修への関心と意欲を深めることが目的です。

制約の多いメディア授業の中で、学生は積極的に課題に取り組み、活動を行っています。



第五回（五月二十日）、第六回（五月二十七日）ではそれぞれ本学が新制四年制大学として

Report 09

教員からのレポート

「ファシリテーターとしての視点」

今年度からこの授業を担当させていただくことになりました。

学科を超え学生たちが共に学修する授業は私自身初めての経験ですが、グループワークでは活発な交流があり、学科(専攻)の発表では充実した内容となりました。

ここまで数回の提出物からは、学科ごとの特徴はあるにせよ、新入生として大学生活に寄せる期待や目標、不安は共通するものがあり、同じ年代の学生が持つ特有の空気感を感じました。また私自身が学生をどう見ていたのか、自分の持っていた先入観にも気付きました。

個人的にはこの授業を担当するにあた

り、教員としてよりもファシリテーターとしてのスタンスで臨みたいと考えています。学生自身が見つけた疑問や課題を解決する姿を見守りつつ、今のそしてこれからの学生の姿を捉えていきたいと思っています。

以前、別の機会に「用意されたコミュニティ」の意義を問われたことがありました。答えは出ませんが、この授業を通して「どんなコミュニティ」かではなく、その中で「個人のあり方」に対する解釈を見つけられたらと思っています。

最後になりますがいつもきめ細かいCREDとSAのサポートに感謝いたします。



大木 敦子 講師

家政学部
造形表現学科

授業の感想を紹介します

「10年後のあなたを想像してください」「そのために、これからの4年間でどのようなことを身につけたいですか」の問いに対し寄せられた新入生の回答を紹介합니다。

- 10年後にはひとりの自立した女性になりたいと考えています。その自立というのは大きく4つに分けて「仕事における自立」「経済面での自立」「身体的な自立」「精神的な自立」この4つを兼ね備えることが目標です。今現在の自分自身を振り返るとその理想像にはとても及ばないため、この四年間では自立・自律をするためのステップとして自主的に動く「主体性」に重きを置いていきたいと考えています。
- 私の理想の十年後の理想の姿は、人々を笑顔にできたり他人の人生に良い影響を与える人物になることです。それを自分にできる形でできるものは何かと考えた際、周りの友人たちよりも幼いころからファッションや外見などに気を配っていたので、その自分の優れた部分で何か貢献できればと思いこの道を選びました。(中略)この四年間で、仲間に良い意味で影響や刺激を与えられる人物でいたいです。
- 私の10年後は、仕事をしているか結婚をしているのか分かりませんが、自分らしく生きていければいいと思います。「自分らしく」と言った理由は、今の自分は人に気を使ってしまって自分が違う意見を持っていても合わせてしまう時があるからです。10年後の自分は、自分の意思をしっかりと持った女性になりたいです。そして、自分のやりたい仕事をして楽しく暮らしていければいいなと思います。書いたような自分になるためには、日頃から沢山の人とコミュニケーションを大切に、新しい事などに積極的に参加する事が大切だと思います。



授業の担当者会議を実施しました

4月21日(水)のお昼休みに第1回授業担当者会議を開催し、導入パート(第一回)についての意見交換を行いました。

スタートアップセミナー自主自律では、授業実践で得られた知見(課題、改善した方がよい点、取り入れるとよいやり方)の共有のために、各パートの授業終了後に、授業担当者会議を開催させていただく予定です。第1回となる今回は、第1回の導入部分(協同学習を体験する)終了時の学生の様子や、ス

スタートアップセミナー自主自律を担当して抱いた疑問点・感想、授業についての共有が行われました。メディア授業での実施となるため、学生の授業参加状況やシステムの接続についての質問などもあり、運営側としてより丁寧な対応が求められると実感する機会となりました。

お知らせ

広報誌をHPでご確認いただけます。

これまでに発行しました広報誌のバックナンバーをHPに掲載しております。もしよろしければぜひご確認ください! ↓
[スタートアップセミナー自主自律\(広報誌\)|東京家政大学\(tokyo-kasei.ac.jp\)](http://startup@tokyo-kasei.ac.jp)

スタートアップセミナー自主自律に関する問い合わせ先

学修・教育開発センター(板橋校舎 百周年記念館1階)

TEL: 03-3961-0284 E-mail: startup@tokyo-kasei.ac.jp